

令和 7 年度（2024 年度） 第 1 回小原地域会議 会議録

開催日時	令和 7 年 4 月 30 日（水）	開会	閉会
		午後 6 時 30 分	午後 8 時 30 分
会 場	小原支所 第 1 会議室		
出 席 者	委 員	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、成瀬友昭、景山卓己、大林鐘次、岡田口治、小出透、板倉正典、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、鈴木孝典、濱辺誠一、無州麻美、伊藤大悟	
欠 席 者	安藤茂則		
次 第	開 会		
	1 会長あいさつ		
	2 協議事項		
	・ 地域課題解決事業の評価について		
	3 その他（連絡事項・配布物等）		
	連絡事項：小原歌舞伎「日本こども歌舞伎まつり i n 小松」出演		
	市場城跡ボランティアガイド立ち上げ		
	閉会		

◆議事録

協議事項：地域課題解決事業の評価について

令和 6 年度に実施した地域課題解決事業（7 事業）について、各委員の評価をもとに改善点等を話し合った。

①定住サポート事業

委員からの意見等

- ・問い合わせ件数は多いが入居が決まらないのは、物件に魅力を感じられない。もっと良い物件を出してもらうためには、地元の協力が不可欠。
- ・所有者の意向（貸さない）もあり、良い物件も劣化が進んでいる。空き家バンクの制度をもっと周知する必要がある。
- ・地域住民が空き家を把握するツアーを開催してもいい。空き家バンク登録物件の状況もわかるので、案内もしやすくなる。
- ・入居が決まらなかった人は、立地や物件等に不満があったと思われる。聞き取りをしてその情報を集計、どんな条件が好まれるかを探ることも必要。
- ・市のホームページを見たが物件の紹介のみにとどまっている。家庭菜園ができる、犬が飼えるなどの目的別に分けて表示できないか。

- ・移住者同士（希望者）が意見交換できる場を設定すれば、安心して移住ができるのではないか。
- ・空き家の改修費補助があるが、上限金額が当初設定のままで現状にそぐわない。

②高齢者を地域で支える体制づくり事業

- ・個人情報の絡みがあるが、一人暮らしの高齢者の情報を区長や民生児童委員が把握しているのみで地域住民は知らない。そもそもこの制度のことを地域住民が知らないのではないか。
- ・見守りを断った人をどうするのが問題であり、自主防災組織を活用し消防団が訪問するなどの踏み込んだ対応も必要。
- ・知らない人からの電話に出ない、訪問しても出てこない高齢者は多い。ただ、同じ地区の高齢者同士なら電話にも出てくれるという話も聞く。地区内の元気な高齢者に見守りを依頼することもいいのではないか。
- ・子どもの訪問を拒否する高齢者はほぼいない。小学校などでは地区内の高齢者を訪ねて話をする授業も行われているようだが、地区内でも、このような取り組みができないか。